



ふとこりやま

懐山おくないの次世代継承の取り組みについて

国指定重要無形民俗文化財「懐山のおくない」は、2024年正月の祭礼にあたり、**新たな担い手**を迎え下記のとおり実施しますので、ご案内いたします。ぜひ取材いただきませう、お願いいたします。

記

懐山のおくない

1 日時 2024年1月3日(水) 午後1時頃～

2 場所 たいぞういん 泰蔵院 (浜松市天竜区懐山 466)

3 主催 懐山おくない保存会

【新たな担い手の紹介】

大石 紘明 (おおいしこうめい) さん

浜松市天竜区懐山出身。浜松市立清竜中学校在学時に懐山のおくないの継承活動に参加。2023年4月から浜松山里いきいき応援隊(地域おこし協力隊)の隊員として佐久間地域において活動中。

※ 大石さんのほかに若者数名が参加します。

【懐山のおくないについて】

数百年前から懐山に伝わるしゅしょうえ修正会(中世に各地で隆盛した寺院の正月行事)の一種で、例年正月3日に五穀豊穰、無病息災、子孫繁栄などの祈りを込めて行われます。神楽と田遊びにより構成され、特に、田遊びの芸能には「塩買い」「綿買い」といった当時の村人の生活がよく表されています。



1994年(平成6)に、川名のひよんどり、寺野のひよんどりと共に「遠江のひよんどりとおくない」として国指定重要無形民俗文化財の指定を受けました。

2020年(令和2)から新型コロナウイルス感染症対策として休止し、4年ぶりに開催されます。

